

どうする？ どう生かす？

テスト化できない生活科の学びの見取り方

生活科は、創設以来、子どもの多様性を生かし、学びを豊かにすることを大切にしてきました。しかし、どんな力がついているのかが見えにくい教科です。評価するときは、活動と共に変化する子どもの姿を1単元ごとに大切に見取り、単元全体を通して変容全体を見取り、長期的に評価したあとに「ここをもっと伸ばしてあげたい」と、子どもの成長につなげる「指導と評価の一体化」が大切です。

学びを見取る「評価規準」とは？

目標がどこまで、どのように子どもの姿になっているかを見取る「ものさし」です。

「めざせ 野さい作り名人」単元の目標（例）

野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、適切な世話の仕方、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

単元の評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
野菜などの植物を育てる活動を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜などの植物を育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。

本時（学習の振り返り）の評価規準（例）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
野菜の成長に合った世話の仕方をしてきたことに気付いている。	野菜の世話をした活動を振り返り、大切なことや工夫をしたことなどについて素直に表現している。	野菜を育てたことへの満足感を味わいながら振り返ろうとしている。

教科書に表した「目標」と「評価」の一例「めざせ 野さい作り名人」（学習の振り返り 第⑩⑩時／10時間）

実際の授業では、本時での評価規準を理解したうえで、子どもとの会話を楽しみながら見取ることが大切です。

●「量的な面」だけではなく「質的な面」から捉える
たとえば、カードを「絵や文でたくさん書いている」という、はかりやすい面に着目するのではなく、学習から得た気づきが反映されているか、その気づきが関連付けられて新しい気づきが生まれているかなどに着目します。

【山口 花さんのカードから】
・充実した栽培活動の喜びを表現している。
・学習したことを、これからの自分の生活に生かそうとしている。

【青木 光さんのカードから】
・野菜に合った世話の仕方がわかり、新しい気づきが生まれている。
・前に育てた植物と比較して、その違いに気付いて世話をしている。

つたえる ししんをもつ **何を かんじたかな** 学びの ポケット 109 ページ 1 4 11

たくさん みのったよ。

おいしい 野さいに なあれ 7 月 13 日 天候 曇り
ミニトマトさん おいしくそだててくれてありがとう
2 年 1 組 山口 花

おいしい 野さいに なあれ 7 月 13 日 天候 曇り
里芋さいはかせさん ありがとう
2 年 1 組 青木 光

さいしよは かんたんに みがく と思っていました。
でも、と 中では 黄色く なたり 虫が たくさん ついて きて
とても 大 へん でした。 しか かく いて 食べた ときは うれ しか った
です。 せいか い で 一番 おい しい ミニ トマト だ と思 いました。

野さいは こ う や て でき る こ と が わ かり ました。 こ れ か ら は
きゅう 菜 の 野さい も こ そ ず に 食 べ たい だ います。

せ じ ゅ を は じ め、 て も の の 家 の か と う さん か ら も 木 ざ り
す ぎ る と お い し く そ だ だ ない こ と を 聞 い て が ぶ り しました。

ア ず け と は ち ら ち ら が かわ かり ました。 野さい の こ と を
なん だ も 知 っ て い る か と う さん は ず ぎ い と 思 っ ち ました。

の こ した い 方 ほう に ○ を つ け よ う。

わたしの 野さいの 思い出

また そだてたいな。

野さいは ちょっと にか手 だ った けれど す ぎ に な った。

す ぐ く お い し かった。 み ん な は ？

スーパ ー の ミニ ト マ ト は の う 家 の 人 が こ ころ を こ め て そ だ て て い る ん だ な。

おいしい 野さいが でき ました ね。

つたえたいな
おいしい 野さいに なる ひ み つ が あ る ん だ よ。

野さい 作 り 名 人 に な れ た か な。

くん くん は し こ

●自己評価
子ども一人一人の学習への自信や意欲を見取ります。

●子どもどうしの会話
発表活動で表現される作品や言葉以外にも、活動のなかでつぶやいた言葉、子どもどうしの会話などに、深い気づきが表れている場合があります。

【山口 花さんの発言から】
・以前の自分からの成長に気付いている。

【青木 光さんの発言から】
・野菜栽培の体験が、身近な自分の生活と結びついている。

●先生の支援
子どもの気づきに共感し、共に動き、小さな変化を見取って、そのよさを発揮できる指導へとつなげます。

●子どもにとってになりたい姿
単元の目標と連動させて、子どもと一緒につくっていくことが大切です。